

2級 (V)

(一) 読み (30)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ねんご	あ	すその	いたばさ	か	も	すきま	はなは	いろど	やおもて	けんお	かもん	そうと	せんさい	ぼっこう	くんとう	きょうきん	こうじょ	しんちよく	けんあん	とうほん	そうそふ	へんせん	さくいん	つかんばん	きょうりよう	たいかん	ふつぎよう	かいゆ	ぜんぶく

(二) 音訓読み (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
あな	けいぶ	しず	ちんこん	つちか	ばいよう	くつがえ	てんぷく	うれ	りよしゅう

(三) 熟語の構成 (20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	オ	ア	エ	イ	ア	ウ	イ	ア	ウ

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。

(四) 四字熟語 (30)

15	14	13	12	11	問2 意味	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1 書き取り
コ	イ	ケ	カ	エ		花鳥	雲泥	衆人	酒池	狐城	外親	止水	浮木	冬扇	空拳	

(五) 対義語・類義語 (20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
采配	謹呈	流浪	安泰	豪傑	貪欲	懲罰	俊敏	慶祝	分割

(六) 同音・同訓異字 (20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
喪	藻	謝恩	遮音	火急	可及	交渉	高尚	逃走	闘争

(七) 誤字訂正 (10)

5	4	3	2	1	
益	引	符	更	疑	誤
疫	因	怖	貢	欺	正

(八) 漢字と送りがな (10)

5	4	3	2	1
和やかな	緩め	鍛えれ	挑む	羨ん

(九) 書き取り (50)

5	4	3	2	1
如実	蛇	釣果	栓	愛猫

(下へつづく)

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
瀬	虐	幻	逝	戯	麓	契	岬	障	難癖	賜杯	捻出	渋滞	打診	抗菌	洞察	翻弄	恣意	星霜	秘奥

準2級 (V)

(一) 読み (30)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
すも う	も っ ぱ	う ず し お	ほ ま	か た よ	お お わ く	か わ	の ぞ	す み ず み	そ こ	け っ さ く	けん ざ い	く う ば く	よ れ い	じ じ よ う	き ん せ ん	き ゆ う	かん ち よ う	ゆ い び	けん き よ	ほん ぼ う	こう し よ う	もう じ ゆ う	あ ん い つ	ぎ ん み	け い ぶ	じ せ ん	ぜん ぞ う	き ん ゆ う	じょ じょ う

1 × 30

(二) 音訓読み (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
こ	き	く	ど	く	かい	ち	せい	か	く
ば	よ	ぜ	ぞ	く	こん	か	がん		ちく

(三) 熟語の構成 (20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	ア	イ	オ	ウ	エ	ウ	エ	ア

(四) 四字熟語 (30)

15	14	13	12	11	問2	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
イ	ケ	コ	ア	エ	意味	周	碎	誇	城	没	福	尾	為	罰	猛	書き取り

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。

(五) 対義語・類義語 (20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
黙	倫	距	解	浴	鈍	偉	拙	警	一
殺	理	離	任	槽	重	大	劣	戒	斉

(六) 同音・同訓異字 (20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
漏	守	蛇	妥	刻	酷	餓	雅	泡	崩

(七) 誤字訂正 (10)

5	4	3	2	1	
拘	拳	礼	依	到	誤
抗	去	例	維	騰	正

(八) 漢字と送りがな (10)

5	4	3	2	1
渋	潤	迎	蓄	畳
かつ	す	え	える	む

(九) 書き取り (50)

5	4	3	2	1
発	惰	同	繁	栓
症	性	伴	栄	

(下へつづく)

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
硫	曆	泥	詰	脅	霜	飽	麻	背	大	迅	邪	国	詐	特	満	独	洗	上	消
黄		沼			焼				胆	速	推	賓	称	殊	杯	占	濯	旬	耗

3級 (V)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
またぎ	おさ	なえ	うら	あなう	つくろ	あざむ	ほどとお	はか	なぐさ	えんてんか	ゆうりよ	ずいぶん	めんぜい	ごじよう	かくぜつ	しつじゅん	たくえつ	はいた	ふうさ	ぶんだん	はっこう	すいたい	けいぼ	だんろ	ざんじ	ひんじやく	ようりつ	せいそう	がまん

1×30 (30)

5	4	3	2	1
ア 匿	イ 邪	ク 屈	オ 敢	コ 緊

2×5 (10)

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ 荒	ウ 揚	ア 飽	イ 妨	エ 乏	オ 某	ア 錯	オ 察	エ 擦	ウ 匠	エ 衝	イ 掌	オ 粗	イ 阻	ウ 礎

2×15 (30)

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ シ	ア ロ	エ イ	イ 虫	ア 穴	イ 戸	ア 爰	エ 之	ウ 四	ウ 言

1×10 (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	ウ	ア	イ	エ	ア	イ	エ	ウ	オ

2×10 (20)

5	4	3	2	1
奪 っ	連 ねる	志 す	促 さ	淡 い

2×5 (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
負	空	朗	伏	特	恥	没	敗	愛	革

2×10 (20)

5	4	3	2	1	
事	致	機	抜	財	誤
辞	置	軌	伐	在	正

2×5 (10)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
一 貫	不 敵	選 択	石 火	万 別	直 情	妙 計	博 覧	多 岐	議 論

2×10 (20)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
誘	漂	預	涙	米粒	嘆	紛	丸裸	古墳	郊外	偶数	昇進	聴力	細胞	顧問	後悔	傾斜	船頭	幻想	福祉

2×20 (40)

第2回 日本漢字能力検定 標準解答

（公財）日本漢字能力検定協会

4
級
(V)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(一) 読み
むすこ	えら	さび	みちばた	つ	ではら	おか	さず	おそぎ	こ	こうたい	せいふく	りんせつ	せっぱく	かじよう	どうなん	ちくせき	しゅん	いやく	こし	ゆうべん	かんたく	かんじゅ	めいろ	じゅんぎよう	げんきゆう	しんこう	ぼうさつ	おめい	のうど	(30)

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(二) 同音・同訓異字 (30)
ウ	工	イ	イ	才	ア	工	イ	才	才	ウ	工	工	ア	ウ	
間	舞	真	与	誉	余	桃	稻	倒	奇	揮	鬼	興	恒	攻	

2 × 15

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(四) 熟語の構成 (20)
ア	イ	ア	オ	エ	イ	ウ	ア	エ	ウ	

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(六) 對義語・類義語 (20)
援	是	憶	護	基	慎	凶	沈	略	油	

2 × 10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(八) 四字熟語
麗	里	盾	用	晚	論	品	打	門	即	

(20)

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(+) 書き取り
拍手	猛暑	至急	乾電池	証拠	駆除	強烈	同居	要因	後輩	(40)

2 × 20

5	4	3	2	1	(三) 漢字識別
キ 雷	イ 欄	コ 謡	エ 惑	ウ 黙	

2 × 5 (10)

5	4	3	2	1	(七) 漢字と送りがな
被 る	縮 め	異 な っ	細 か い	響 く	(10)

2 × 5

5	4	3	2	1	(九) 誤字訂正
週	典	志	職	系	誤
周	展	指	殖	景	正

2 × 5 (10)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(+) 書き取り
泉	泊	互	張	勇	針	濟	鋭	露骨	堅実	拍手	猛暑	至急	乾電池	証拠	駆除	強烈	同居	要因	後輩	(40)

2 × 20

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

第2回 日本漢字能力検定 標準解答

5級

(V)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
い	たまご	ししょう	あやま	かいかく	も	いた	じゅんぱく	よ	こくもつ	じゅうじ	つくえ	かいらん	ふんき	ぎろん	にゅうし	さが	そ	ちよめい	すがた

(一) 読み
(20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
9	4	10	1	8	3	13	8	9	7

(三) 画数(算用数字)
(10)

1×10

(二) 部首と部首名記号
(10)

1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	ア	イ	ウ	エ	ア	エ	イ	ウ	ア

(五) 音と訓(記号)
(20)

2×10

(四) 漢字と送りかなひらがな
(10)

2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
預	処	樹	値	将	権	縦	延	痛	片

(七) 対義語類義語(一字)
(20)

2×10

(六) 四字の熟語(一字)
(20)

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
看	官	備	供	経	系	署	諸	蔵	増

(十) 同じ読み漢字
(20)

2×10

(九) 熟語の構成(記号)
(20)

2×10

(八) 熟語作り(記号)
(10)

2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
舌	担当	解除	映	朗読	並	忠実	砂	背景	拝	展示	割	推進	優勝	乱	拡張	暮	絹	指揮	洗

(土) 漢字
(40)

2×20

第2回 日本漢字能力検定 標準解答

(公財) 日本漢字能力検定協会

6級 (V)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
あ ま	は ん が	こ う し ゆ う	も	も う	て い し ゆ つ	か ま	ふ く す う	は か ま い	たい し よ う	ち よ す い	と	ぶ ん か ざ い	かん そ く	く ら	かい し ゆ う	さん み ゃ く	か ぎ	ま か	わ た ぐ も

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
久	イ	巾	キ	貝	ウ	ハ	コ	口	オ

(三) 部首名と部首 (10) 1×10

5	4	3	2	1
慣 ら す	混 ぜ る	示 す	永 く	支 え る

(二) 漢字と送りかなひらがな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	エ	イ	ア	ウ	エ	ウ	エ	イ	ア

(五) じゅく語の構成記号 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
11	1	10	6	12	4	10	8	9	3

(四) 画数(算用数字) (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
忘	衛	備	造	興	想	復	精	減	容

(七) 対義語類義語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
非	識	防	個	証	術	圧	解	均	舍

(六) 三字のじゅく語(一字) (20) 2×10

9	8	7	6	5	4	3	2	1
仮	過	価	易	液	基	規	写	移

(十) 同じ読みの漢字 (18) 2×9

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	エ	イ	ア	ウ	エ	ウ	ア	イ	ア

(九) 音と訓記号 (20) 2×10

6	5	4	3	2	1
ウ	オ	シ	ク	ア	コ

(八) じゅく語作り(記号) (12) 2×6

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
飼	営	原因	指導	夢	禁止	逆	救急	弁当	編	勢	品質	演技	迷	接近	額	輸入	久	感謝	幹

(十一) 漢字 (40) 2×20

7級 (V)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(一) 読み
す	さ か	き かい	ね つ	は たら	ざん ねん	ろく おん	み	か がみ	つ	もく てきち	せん そう	そ うこ	な お	えん げい	が つしょう	え ら	あん がい	つ づ	か	(20)

1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(三) 漢字えらび(記号)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(二) 読み
ア	ウ	ア	ウ	イ	イ	ウ	ア	イ	ウ	(20)	や しな	よう ぶん	く わ	かに ゆう	し ず	あん せい	は た	こ つき	お	は いち	(10)

2×10

1×10

5	4	3	2	1	(六) 対義語(一字)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(五) 音読み・訓読み(記号)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(四) 画数(算用数字)
康	末	敗	席	冷	(10)	イ	ア	イ	イ	ア	ア	ア	イ	ア	イ	(20)	総画数					何画目					(10)
					2×5												7	12	9	11	6	5	12	3	4	6	1×10

ウ				イ			ア			(八) 同じ部首の漢字	7	6	5	4	3	2	1	(七) 漢字と送りかな(ひらがな)
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(20)	固 まる	低 く	建 てる	最 も	改 める	願 う	覚 える	(14)
別	刷	副	利	仲	側	位	縄	給	約	2×10								2×7

五		四		三		二		一		(十) 同じ読み(記号)	8	7	6	5	4	3	2	1	(九) 同じ読み(漢字)
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(20)	帯	隊	課	果	径	景	観	完	(16)
ウ	ア	イ	オ	ウ	エ	オ	イ	ア	エ	2×10									2×8

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(十一) 漢字
浅	求	祝	法	街	清	底	焼	愛	束	必	億	器	標	徳	昨	典	英	照	芽	(40)

2×20

(一) つぎの1線の漢字の読みがなを
1線の右に書きなさい。

(30
1×30)

- 1 今夜は美しい星空が広がっている。
- 2 畑で育てているトマトが色づく。
- 3 花火が次から次へと打ち上げられた。
- 4 教室のたてと横の長さをはかる。
- 5 二人追いついて一位になった。
- 6 病院でけがの手当てをしてもらう。
- 7 姉とつくえをならべて勉強する。
- 8 親子で工作教室に申し込んだ。
- 9 交番で市役所までの道を聞く。
- 10 水の中を赤い金魚が泳ぐ。
- 11 もうすぐピアノの発表会がある。
- 12 雨がふって地面に水たまりができた。
- 13 先生に指名されて教科書を読む。
- 14 クラス全員でドッジボールをした。
- 15 学級文庫のほとんどが童話の本だ。
- 16 暗い空にいなすまが走った。
- 17 ことわざの意味や使い方をおぼえる。
- 18 日やけて顔の皮が少しむけた。
- 19 上等なチョココレートをもらった。
- 20 遠足のために軽い水を買う。

柱 礼 鼻 開 対

8 3 12 5 4

去 宮 祭 有 持

5 10 11 6 9

(二) つぎの漢字の太いところは、何番めに
書きなさい。○の中に数字を書きなさい。

(10
1×10)

こぞとへん …… 太陽 …… 階 …… だん
たけかんむり …… たて …… 笛 …… 筆 …… 箱
(心) …… 鼻 …… 息 …… 悲 …… しむ
しんにょう …… 時 …… 速 …… 放 …… 送 …… 室
さんずい …… 温 …… 度 …… 決 …… 心
(し) …… 温 …… 度 …… 決 …… 心

— うらへつづく —

(三) (一)の中に漢字を書いて、上のはんたいの
いみのことばにしなさい。

(10
2×5)

きけん — (安) 全
止める — (動) かす
はじめ — (終) わり
よい — (悪) い
おくれる — (進) む

(四) おなじなかまの漢字を□の中に書きなさい。

(20
2×10)

(五) つぎの(一)の中に漢字を書きなさい。
町内の(消)火くん練にさんかした。
自分の考えを文(章)にまとめた。
青森(県)は本州のいちばん北にある。
せみの一生について(研)究する。
野(球)の試合を見に行った。
駅のホームで(急)行電車を待った。
ねている子犬の写(真)をとる。
高校生の兄は母より(身)長が高い。
おふろに入る前に体(重)をはかった。
申しこみ書に(住)所と名前を書く。
(六) つぎの1線のカタカナを○の中の漢字を
おくりがな(ひらがな)で□の中に書きな
さい。
〈れい〉(大) オオキイ花がさく。 大きい
1 遊 ぶ
2 整 める
3 曲 げる
4 苦 しい
5 起 きる
6 遊 ぶ
7 整 める
8 曲 げる
9 苦 しい
10 起 きる

(20
2×10)

(七) つぎの1線の漢字の読みがなを
1線の右に書きなさい。
ばくのすきな教科は体(育)と理科だ。
花だんのひまわりが大きく育(つ)つ。
図かんで貝やヒトデの化(石)を見た。
きつねが花よめに化(け)ける話を聞いた。
始(業)式で元氣よく校歌を歌った。
つぐえに向かって勉強を始(は)める。
幸運にも福引きで一等が当たった。
給食当番がおかずや牛にゅうを運(は)ぶ。
ピアノの練習を根(こ)氣よくつづける。
たんばの根は地中深くのびる。
(八) つぎの□の中に漢字を書きなさい。
1 しっかり計画を立てて、夏休みの
2 外国の(宿)題に取り組む。
3 ノートに感(想)を書く。
4 宿 題
5 感 想
6 宿 題
7 感 想
8 宿 題
9 感 想
10 宿 題
11 感 想
12 宿 題
13 感 想
14 宿 題
15 感 想
16 宿 題
17 感 想
18 宿 題
19 感 想
20 宿 題

(10
1×10)

3 さきの(葉)は作ったふねを
川にそって流(なが)す。
4 山(登)りのどちゅう、ひと休みして
水とお茶を飲(の)んだ。
5 林で拾(ひろ)った木の(実)で
こまを作った。
6 天気の良い日に自(自)転(車)で
まて行った。
7 食(食)べ(物)をよくかむと虫(歯)の
予(予)ばうになるそう。
8 少年は船に(乗)り、たからを
さがす旅(たび)に出た。
9 世(世)界(界)のいろいろな国の
選手がオリンピックに集まる。
10 農家の人が朝早くから畑で
仕(し)事(こと)をしている。
11 お わ り

○この答えを見て、書けなかったところは
どこか、まちがったところはどこか、
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、
そのままにしないで、すぐに練習をして
正しくおぼえましょう。

(一) つぎの文をよんで、———の漢字のよみがなを———の右にかきなさい。

1 鳥かこの戸をそとあけて
インコにえさをやった。

2 細かくきざんだ野さいと
肉でギョーザを作った。

3 ぼくはお父さんと顔が
にていると、よく言われる。

4 五頭のらくだが一れつに
ならんで、さばくを歩く。

5 妹は、ようち園から昼すぎに
帰ってくる。

6 うちゅうに行った人の話を
聞いて、いつか自分も行つて
みたいと思った。

7 国語の時間にならった漢字を
何回もノートに書いて
れんしゅうした。

8 うんどう会の日は朝から
よく晴れて、気もちのよい
青空が広がった。

(二) つぎの漢字のふたひらがなをなぞに
かきますか。○の中にう字をかきなさい。

走 池 首 風 理
読 雪 知 麦 弓

(三) □にひらがなを一字かいて、つぎの
ことばのよみをこたえなさい。

大声……おおごえ
夜店……よみせ
高学年……こうがくねん
村外れ……むらはすれ
金星……きんせい

(四) つぎの文をよんで、———の漢字のよみがなを———の右にかきなさい。

校長先生にあいさつをする。
あさがおのつるが長くのびる。

夕食のじゅんぴをてつだう。
バナナが食べごろになった。

黒ばんの字をきれいにけす。
わたしは黒いくつをもっている。

おり紙を四角いはこにしまう。
バスはつぎの角を左にまがる。

王さまが家来をつれて歩く。
大工さんが家をたてている。

——うらへつづく——

(五) つぎの漢字のよみがなを漢字で
はうのばんごうに○をつけてなさい。正しい

1 はは親 ① 母親
2 毎親
2 白まい ① 白米
2 白来
3 じょう空 ① 上空
2 上空
4 一まん人 ① 一万人
2 一方人
5 毛むし ① 毛虫
2 毛虫
6 かたる ① 語る
2 計る

(六) れいのようにおなじな漢字を
□の中にかきなさい。

雨 雲 電 力
明 る い ・ 月 曜 日
点 数 ・ 教 わる
遠 足 ・ 一 週 間
東 京 ・ 交 番

(七) つぎの□の中に漢字をかきなさい。

秋…春 ① 引き
体…心 ② 買う
牛…馬 ③ 切る
点…線 ④ 多い
貝…魚 ⑤ 新しい

(八) つぎの文をよんで、□の中に漢字を
かきなさい。

1 寺の門のはしらで
せみが鳴いている。
2 えき前の道を右に
行くと、海が見えてきた。
3 ひき算をやり直して
答えをたしかめた。

4 兄は、せかい地図を
見るのがすきだ。

5 音楽室で、先生のひく
ピアノに合わせて歌った。

6 画用紙に、赤や黄色の
チューリップの絵を
かいた。

7 南がわのベランダに
太やうの強い光が

8 友だちと近くの
あたりの午後、

原っぱでサッカーをする。

——おわり——

○この答えを見て、書けなかったところは
どこか、まちがったところはどこか、
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、
そのままにしないで、すぐに練習をして
正しくおぼえましょう。

1 つぎのぶんをよんで、
かん字のよみがなを——
みきに かきなさい。

1 犬のおや子^こがにわを
かけまわっている。

2 山のほうへからすが

五^ごわ、とんでいった。

3 車^{くるま}にのつてとなり町^{まち}へ

かいものに 出^でかける。

4 花^{はな}だんの土^{つち}をたがやして

小さなたねをまいた。

5 ぞうがりんごを一つ

はなでつかんで、口の

中^{うち}に入^いれた。

正 名 竹 貝 花 五
2 3 4 2 5 3

金 水 年 山 学 左
8 4 6 3 8 5

2 つぎの かん字の ふといところは
なんばんめにかきますか。○の
なかにすう字をかきなさい。

立^たっている。

ふといさくらの木^きが

7 学校^{がっこう}のもの^{もの}の 左^{ひだり}がわに

早く^{はや}ねた。

6 えん足^{そく}の まえの 日^ひは

3 つぎのぶんをよんで、
よみがなを——
かん字の
みきに かきなさい。

音^{おん}がくに あわせて おどる。

ドアの しまる 音^{おと}がした。

先^{せん}しゅう、ゆうえんち^ちに いった。

えんぴつ^{えんぴつ}の 先^{さき}が まるく なる。

水^{みづ}そうで めだかを かう。

バケツ^{ばけつ}に 水^{みづ}を 入れてはこぶ。

四^よ月^{がつ}に おとうとが うまれた。

四^よ人^{にん}で トランプを した。

——うらへつづく——

4 つぎの ことばの よみがなを ください。
ほうの ばんごうに ○ を つけなさい。

かん字 ① かんぢ ② かんじ

町名 ① ちようめい ② ちようめえ

二日 ① ふつか ② ふつか

百年 ① ひやくねん ② ひやくねん

王さま ① おうさま ② おおさま

5 ⑤ に ひらがなを 一字 かいて つぎの
ことばの よみを こたえなさい。

竹やぶ ① たけやぶ

六本 ① ろっぽん

貝がら ① かいがら

火山 ① かざん

千円 ① せんえん

6 つぎの □ の なかに かん字をかきなさい。

左 ① さん ② ぶん

男 ① におんな ② ぶん

足 ① たり ② ぶん

町 ① ちやうめい ② ぶん

すな ① いし ② ぶん

1 ほけんしつで ① 目や

2 ともだちと ① 草はらで

3 赤いビーズに ① 糸を

4 てんとう虫をさがした。

とおして ゆびわをつくる。

4 きこのうの ひる ① 休み

3 年生の 人たちと

5 雨がやんで、森の

10 雨 ① あめ ② ぶん

13 見える。

6 シャボン玉が かせに

のって、青い空へ

7 天気^{てんき}のよい日に

19 林^{はやし}の そばを ながれる

20 川^{かわ}で つりを した。

——おわり——

○この答えを見て、書けなかったところは
どこか、まちがったところはどこか、
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、
そのままにしないで、すぐに練習をして
正しくおぼえましょう。